

【新型コロナワクチン接種後も感染対策を！】

地域や職域でのワクチン接種が進む一方、新型コロナウイルスの感染者は20～40代の働き盛りが中心となりつつあります。職場や家庭での感染拡大が懸念される中、ワクチン接種後の感染対策はどのようにすればよいのでしょうか？

1. 新型コロナワクチン接種後も感染対策は必要！

ワクチンは、免疫力をつけることによって、ウイルス感染による症状の出現や重症化を防ぐ効果があります。しかし、ワクチン接種のみで新型コロナウイルス感染症を完全に防ぐことは困難です。

理由①：ワクチンには高い発症予防効果が認められているものの、100%ではない。

ワクチン接種による発症予防効果は95%前後と高いものの100%ではなく、ワクチン接種完了後に新型コロナウイルス感染症にかかる例も報告されています。

理由②：ワクチン接種後、十分な効果がでるまでには一定の期間が必要

ワクチンの十分な効果を得るためには、2回目のワクチン接種後、一定の期間が必要であり、その間はワクチンを接種していない場合と同様に発症する可能性があります。

理由③変異株の出現

現在、急速な感染拡大が懸念されているデルタ株は、従来のウイルスに比べ感染力が高く、ワクチンの発症予防効果が低下する可能性が指摘されています。

ただし、ワクチンが有効であることは変わりありません。ワクチン接種に加えて、マスクの着用や換気など、従来どおりの対策を行うことが、より確実に身を守ることになります。

また、社会の中ではこれからワクチン接種をする人、健康上の理由等でワクチンを接種することが出来ない人も、ともに生活をしています。自分と周囲の人を新型コロナウイルス感染症から守るためには、ワクチン接種をした人も含め、引き続き感染対策を行っていくことが重要です。

2. 感染対策のポイント：「目指すはゼロ密」

デルタ株は感染力が強く、さらに感染者が増加する可能性があります。感染者が増加することにより、新型コロナウイルス感染症にかかった人ばかりではなく、がんや生活習慣病など、その他の病気に対する医療の提供に影響することにもつながります。

対策としては、**ひとりひとりが基本的な感染予防策を、しっかりと行う**ことが大切です。普段の感染対策をもう一度振り返り、あらためて確認しましょう。

こまめな換気



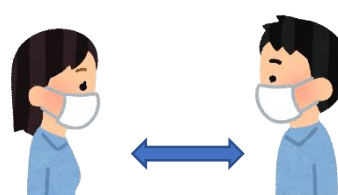
30分に1回は窓を2か所以上開けて換気する
車内でも窓を開けて換気を

正しいマスクの着用



不織布のマスクを使用する
鼻と口をしっかりとおおう

会話時にも注意



マスク着用で、十分距離をとる
(屋外でもマスクなしの会話はリスクあり)
大声をひかえ、時間はできるだけ短く

外出をひかえる



普段合わない人と会う機会は感
染リスクを高める
外出を今までの半分に減らす

体調不良時は休む



発熱など体調不良時は
無理に出勤せず、早めに
受診する

ワクチンの接種



発症・重症化予防のため、
早めにワクチン接種を

＜参考＞ 厚生労働省

「新型コロナワクチンの有効性・安全性について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yuukousei_anzensei.html

「新型コロナワクチン Q&A」

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

国立感染症研究所

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連情報について」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

【次回のおろしまち保健室】

11月18日（木）13:30～17:00

卸町会館 2 階 第 2 会議室（※場所が変わりました）

予約不要：直接会場へお越しください

仙台卸商健康保険組合：984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-9-5 Tel：022-235-5896

おろしまち保健室（保健師）：hokenshitu@os-kenpo-sendai.jp